

2023年4月 千葉公園「自然観察会のお知らせ」

日時：2023年4月8日（土）10時00分～12時00分（120分）

会場：千葉公園 〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-1 ⑤

集合：蓮華亭（受付9:45～）

内容：今月のテーマ：樹皮の観察「巨樹の服装柄」

①綿打池周辺のサクラ（ばら科）

シダレザクラ・オオシマザクラ・ソメイヨシノ

②ヤマブキ（ばら科）

ヤマブキの実は一重、八重のどちらの花につくの？

③トサミズキ（まんさく科）

トサミズキとヒュウガミズキはどう違うの？ミズキ科じゃないの？

④アオキ（みずき科）

アオキの花が咲いています。雄花と雌花の二種類あります。

⑤ムスカリ（きじかくし科） 以前はゆり科でした

お花見広場の奥に青色のじゅうたんがあるよ。青い小さなブドウの房のようです

⑥綿打池のサギ類

サギの仲間は杭の上で白いサギのコサギとダイサギが、島にはアオサギいますよ

持ち物：自然観察ができる服装と靴・タオル・飲み物・おやつ・図鑑（植物・昆虫・野鳥など）

カメラ・双眼鏡・敷物・帽子・雨具・筆記具・虫眼鏡・薬・捕虫網と籠・採集袋など

お話し：亀井尊（ちばサイエンスの会・日本自然保護協会・自然観察導員）

安全対策：1. ゆっくり千葉公園内を歩いて、春の自然に親しみます。

2. マスクを着用し、距離を保ち、適度に水分補給をします。

3. 植物採集、昆虫の採集はできません。

4. 植物のトゲ、昆虫の毒に注意しましょう。

時間配分 9:45 受付開始

10:00～10:10 蓮華亭にて挨拶・資料配布・今月の自然解説・諸注意

10:10～11:50 コース

綿打池を時計回りで移動し展望台、市民プール近くまで行き、戻ります。

①木々の芽吹きと雌雄異株 ②春に咲く草花の観察

③昆虫と野鳥の観察 ④草花遊び「タンポポ笛など」

11:50～12:00 今日の観察会を振り返って。 来月の予定 5月13日（土）10:00～12:00

《観察のポイント》

1. サクラは日本を代表する花です。綿打池周辺にいろいろな種類のサクラが見られます。早春のカワヅザクラから始まって、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、シダレザクラと楽しめます。
2. ヤマブキの花には一重と八重のものがあります。一重のものには種子ができますが、実の（養）できない八重咲きの枝をもって、太田道灌にそれを示めそうとした娘の逸話が有名ですね。
3. 機関車近くにはヒュウガミズキの花が咲き、荒木山にはトサミズキの花が咲いています。どちらも葉が出る前に薄い黄色の花を房状に枝から垂らしています。花の数が違うようです。
4. アオキは常緑低木として薄暗い道に沿って植栽されています。この時期に花芽を出します。よく調べてみると2種類あります。十文字の紅色の花は雄花と雌花に分かれていますよ。
5. ムスカリという花はチューリップと同じ球根植物です。15cmぐらいの鮮やかな青い花は驚くほどの美しさですが、気づかない人が多いことと管理が悪いと年々減少していきます。
6. 冬鳥が去った綿打池には、留鳥のサギ類、カワウ、カルガモ、マガモなどの水鳥が水面を移動していきます。池の縁でエサ撒きする人や樹木の伐採により水質悪化が気になります。

主催：NPO 法人 ちばサイエンスの会 連絡先 090-3503-6059（亀井）

千葉公園の自然（花・草・鳥・昆虫など）に親しむ

厳しい冬を過ごした植物が春の日差しを浴びて新芽を膨らませてきました。林床部には春の草花が地面を覆うように緑が豊かに広がり、シダレザクラやソメイヨシノなどのサクラの仲間が綿打池の周辺で咲き始めました。コブシの白い花は散り始め、若葉が雑木林の中で一段と目立ちます。

花壇には色とりどりの花が競うように咲いています。チューリップ、ボリジ、ノースポール、シャガ、アマドコロ、アジュガ、ヤグルマギクなどが咲き、その上をチョウが舞います。



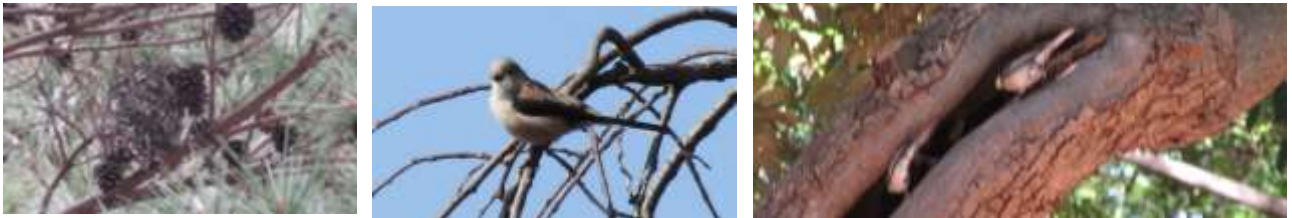
【アジュガ】 「ボリジ」 【オオツルゴ】 【ノースポール】 【ヤグルマギク】 【チューリップ】

ウグイスやシジュウカラなどの鳥のさえずりも木々の中から聞こえてきます。千葉公園の動植物が動き出しました。ゆっくり歩いて春本番の自然に親しみましょう。

さて、3月の観察会ではクロマツで子育てをするエナガの巣を見つけ、遠目に親が見守る光景を観察することができました。公園内で尊い命の繋がりに接し、皆さんで感動しました。今は巣だけが残っていますが、3年前には護国神社前のスダジイの洞でシジュウカラの子育てを観察しました。

自然が豊かであることは生物多様性を支え、生命の神秘に触れることができます。自然観察会の目的は身近な自然に親しみ、自然を理解し、自然を大切に守っていこうとする心を育てることです。

《エナガの子育て》 《シジュウカラの子育て》 いずれも千葉公園内での観察会から



【クロマツの枝に営巣】 【近くで見守る親】 【スダジイの洞で子育てするシジュウカラ】

1. 日本人はサクラが大好き。各地でお花見が開かれています。さてこのサクラは何科の植物ですか。綿内池を取り巻くようにサクラが咲いて、いま満開です。サクラといえば、ソメイヨシノですね。このサクラは、オオシマザクラとエドヒガンザクラを掛け合わせたもので、日本を代表するものです。千葉公園には、ソメイヨシノばかりではありません。シダレザクラ、ヤマザクラ、オオシマザクラなども見られます。3月のカワヅザクラは園内に5本植栽され、今は緑の葉に覆われています。季節の進みが早いことが気になります。温暖化の影響は様々な問題を生じさせます！
2. ヤマブキの花が咲いています。バラ科の植物で、一重と八重のものがあります。実をつけるのは一重のものです。千葉公園内には一重のものが多いようですが、八重咲きを探してみましよう。ヤマブキの花は鮮やかな黄色い花びらが目立つので、歩いていて直ぐに見つけられますよ。

「七重八重 花は咲けども 山吹の

実の（養）ひとつだに なきぞ悲しき」 太田道灌



【一重咲きのヤマブキの花】



【八重咲きのヤマブキの花】

上の和歌は、太田道灌が雨に降られ、鄙びた住まいを訪ねて蓑（みの）を借りたいと頼むと、娘は山吹の枝を折って差し出したと言います。その意味を理解できなかった道灌は、無学である身を恥じて学問に励んだと言う逸話があります。

3. トサミズキとヒュウガミズキ（まんさく科） *ヒュウガミズキの花は2～4つ

この2種類の植物名にはミズキと最後についています。でもハナミズキやミズキ、クマノミズキなどのみずき科の植物ではなく、まんさく科の植物です。3月にはマンサクの花の構造を観察しましたね。花びら、萼は4枚、オシベ4、メシベ1で、葉が出る前に花が咲いていました。さて、トサミズキとヒュウガミズキはよく似ていますが、大きな違いは房状に伸びた花の数です。トサミズキは6～10個の花をつけます。

植物分類方法が変わり、今はDNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列の違いから生物の系統関係を分類する方法で、APG体系と呼ばれ1998年に公表された新しい分類体系になりました。

4. アオキ（みずき科）は雌雄異株の植物です。この時期に、雌花と雄花の違いを観察することができます。アオキはクスノキやスダジイの大木の下の少し暗い道沿いに植栽されています。この通りにはアセビやヒサカキなどの陰樹の植物が見られます。

アオキの花は、先ず雄花が3月下旬に咲きだし、少し遅れて雌花が咲きだします。受粉は虫によるので「虫媒花」といわれます。どんな昆虫が花粉を運んでいくのでしょうか。調べてみましょう。

《アオキの雌花と雄花》

- ・十字の花の中心に青色をした雌花が一つ見られますね。べたついてますから触ってみましょう。ここに雄花の花粉が運ばれて受粉します。
- ・十字の紅色の花の中心四隅に黄色い花粉をつけた雄花が見られますね。この花粉を運ぶ虫がキノコバエといえます。どんな昆虫でしょうね？



【アオキの雌花】



【アオキの雄花】

5. ムスカリ（ユリ科）

ムスカリの語源はムスク（麝香 じゃこう）です。この仲間に芳香性の種類があるからです。多いのはブドウ状に花をつけるので、英名ではグレープヒヤシンス、和名でもブドウムスカリと呼ばれます。千葉公園ではお花見広場に近い東側の丘一面で見られ、青一色に覆われてみごとなお花畑となり、多くの人々で賑わいます。こぼれ種があちらこちらで見られますよ。



6. 綿打池で見られるサギ類は、アオサギ、コサギ、ダイサギです。また、魚を捕るときに足を震わせている姿が踊っているように見えますよ。コサギとダイサギでは夏と冬とはくちばしと足の色が異なります。

ダイサギ（80～104cm）

- ・くちばし 冬羽：口ばしも目先も黄色・足は黒色
夏羽：口ばしは黒く、目先は青緑色
- ・小魚、昆虫、カエルなどを食べています。



【夏羽のダイサギ】

コサギ（55～65cm）

- ・くちばし 冬羽：口ばしは長くて黒い 足指は黄色
夏羽：頭に2本の冠羽・胸と背に飾り羽
- ・足先を水中で震わせて餌を追い出して捕らえる光景を目にします。



【冬羽のコサギ】

アオサギ（90～98cm）

- ・綿打池の中の島で松の木周辺で見られます。背は青色を帯びた灰色
- ・飛行中に「グァン」「グア」と大きな声でなくよ。
- ・魚類、両生類、昆虫などを浅瀬を徘徊しながら獲物を探しています。



【アオサギ】

《4月》 千葉公園の自然風景（花・草・鳥・昆虫など）

【①】 シダレザクラ



①春爛漫、綿打池では親子の乗ったボートが行きかい、桜の下では人々で賑わいます。

【②】 ヤマブキ



②「七重八重 花は咲けども ヤマブキの
実の一つ 無きぞ悲しき」 太田道灌

【③】 トサミズキ



③黄色い花を枝から複数垂らしているこの植物
まんさく科のトサミズキです。香りますか？

【④】 アオキ



④左は雄花です。四つの黄色い花粉が見えます。
右隅は雌花。真ん中に緑の突起が見えますね。

【⑤】 ムスカリ



⑤ムスカリの青い花が一面に咲いています。
この時期は桜と一緒に楽しむことができます。

【⑥】 ダイサギ



⑥綿打池の空中を優雅に舞い、小魚を食べます。
くちばしは黄色、脚は黒色に変化します。